

本時の目標



日本の交通ネットワークは、どのように変化したのだろうか？説明してみよう。

- 1 前回までのおさらい
- 2 社会的な見方や考え方の整理

国家政策における(①)を追求すると、
交通ネットワークは、空間的な平等の実現を目指し、
(②)型となる。

- 3 今日の目標の確認
- 4 資料①新聞記事から事実を確認しよう。これって何の記事？
(確認)
- 5 資料②DVDを見てみよう！

6 自分の考えを書こう(予想)

『なぜ?』

なぜならば...

- 5 意見を交流してみよう！

- 6 事実で確かめてみよう！
(1) 資料④からわかること

- (2) 資料⑤からわかること

- (3) 資料⑥からわかること

7 まとめ①

企業経営における効率性を追求すると、
交通ネットワークは、()を省き、
中央と地方の結合を優先した
()型になる。

8 まとめ②

日本の交通ネットワークは、どのように変化したのだろうか？
説明してみよう。

路線名	所在地	国鉄	白糠～北道	33.1km	123人/日	1983年10月22日	白糠町営バスに転換。
① 白糠線	北海道	国鉄	久慈～普代	26.0km	762人/日	1984年3月31日	三陸鉄道北リアス線
② 久慈線	岩手県	国鉄	宮古～田老	12.8km	605人/日	1984年3月31日	三陸鉄道北リアス線
③ 宮古線	岩手県	国鉄	盛～吉浜	21.5km	971人/日	1984年3月31日	三陸鉄道南リアス線
④ 盛線	岩手県	国鉄	喜多方～熱塩	11.6km	280人/日	1984年3月31日	会津乗合自動車
⑤ 日中線	福島県	国鉄	新発田～東赤谷	18.9km	850人/日	1984年3月31日	新潟交通に転換され、現在は新潟交通観光バス。
⑥ 赤谷線	新潟県	国鉄	来迎寺～西小千谷	12.6km	382人/日	1984年3月31日	越後交通バス
⑦ 魚沼線	新潟県	国鉄	清水～三保	8.3km	783人/日	1984年3月31日	静岡鉄道バスに転換され、現在はしずてつジャストライン。
⑧ 清水港線	静岡県	国鉄	清水～神岡	20.3km	445人/日	1984年9月30日	神岡鉄道に転換されたが、2006年11月30日に廃止。
⑨ 神岡線	富山県・岐阜県	国鉄	大垣～美濃神海	24.0km	951人/日	1984年10月5日	根拠鉄道
⑩ 柳見線	岐阜県	国鉄	川部～黒石	6.6km	1,904人/日	1984年10月31日	弘南鉄道黒石線に転換されたが、1998年3月31日に廃止。弘南バスに転換。
⑪ 黒石線	青森県	国鉄	加古川～高砂	6.3km	1,536人/日	1984年11月30日	神姫バス
⑫ 高砂線	兵庫県	国鉄	恵良～肥後小国	26.6km	164人/日	1984年12月1日	大分交通に転換されたが、現在は秋津観光バス。
⑬ 宮原線	大分県・熊本県	国鉄	佐土原～杉安	19.3km	1,217人/日	1984年11月30日	宮崎交通バス
⑭ 妻線	宮崎県	国鉄	中田～小松島	1.9km	1,587人/日	1985年3月13日	小松島市営バス
⑮ 小松島線	徳島県	国鉄	美濃～北見相生	36.8km	411人/日	1985年3月31日	北見バス（後に北海道北見バス）・津別町営バスに転換。
⑯ 相生線	北海道	国鉄	滝清～北見滝ノ上	34.3km	398人/日	1985年3月31日	北紋バス
⑰ 滝清線	北海道	国鉄	志文～万字渡山	23.8km	346人/日	1985年3月31日	北海道中央バス
⑱ 万字線	北海道	国鉄	粟生～北条町	13.8km	1,609人/日	1985年3月31日	北条鉄道
⑲ 北条線	兵庫県	国鉄	厄神～三木	6.8km	1,384人/日	1985年3月31日	三木鉄道に転換されたが、2008年3月31日廃止。神姫バスに転換。
⑳ 三木線	兵庫県	国鉄	倉吉～山守	20.0km	1,085人/日	1985年3月31日	日本交通・日ノ丸自動車バス・中鉄バスに転換。中鉄バスは、後に撤退。
㉑ 倉吉線	鳥取県	国鉄	中岡～香月	3.5km	1,293人/日	1985年3月31日	西鉄バス
㉒ 香月線	福岡県	国鉄	吉塚～筑前勝田	13.8km	840人/日	1985年3月31日	西鉄バス
㉓ 勝田線	福岡県	国鉄	香春～添田	12.1km	212人/日	1985年3月31日	西鉄バス
㉔ 添田線	福岡県	国鉄	遠賀川～雲木	11.2km	607人/日	1985年3月31日	西鉄バス
㉕ 雲木線	福岡県	国鉄	羽犬塚～黒木	19.7km	1,157人/日	1985年3月31日	堀川バス
㉖ 黒木線	福岡県	国鉄	小沢～若内	14.9km	853人/日	1985年6月30日	ニセコバス
㉗ 若内線	北海道	国鉄	浜頓別～北見枝幸	30.4km	190人/日	1985年6月30日	宗谷バス
㉘ 興浜北線	北海道	国鉄	下北～大畑	18.0km	1,524人/日	1985年6月30日	下北交通大畑線に転換されたが、2001年4月1日に廃止。下北交通バスに転換。
㉙ 大畑線	青森県	国鉄	興部～雄武	19.9km	347人/日	1985年7月14日	北紋バス
㉚ 興浜南線	北海道	国鉄	美濃～仁宇布	21.2km	82人/日	1985年9月16日	名士バス
㉛ 美濃線	北海道	国鉄	羽後本荘～羽後矢島	23.0km	1,876人/日	1985年9月30日	由利高原鉄道
㉜ 矢島線	秋田県	国鉄	喜形～明知	25.2km	1,623人/日	1985年11月15日	明知鉄道
㉝ 明知線	岐阜県	国鉄	基山～甘木	14.0km	653人/日	1986年3月31日	甘木鉄道
㉞ 甘木線	佐賀県・福岡県	国鉄	立野～高森	17.7km	1,093人/日	1986年3月31日	南阿蘇鉄道
㉟ 高森線	熊本県	国鉄	機木～丸森	17.4km	1,082人/日	1986年6月30日	阿武隈急行
㊱ 丸森線	宮城県	国鉄	角館～松葉	19.2km	284人/日	1986年10月31日	秋田内陸縦貫鉄道
㊲ 角館線	秋田県	国鉄	貴生川～信楽	14.8km	1,574人/日	1987年7月12日	信楽高原鉄道に転換。
㊳ 信楽線	滋賀県	JR西日本	都家～若様	19.2km	1,558人/日	1987年10月13日	若様鉄道に転換。
㊴ 若様線	鳥取県	JR西日本	大原～上総中野	26.9km	1,815人/日	1988年3月23日	いすみ鉄道に転換。
㊵ 大原線	千葉県	JR東日本					

年鑑「日本の鉄道」（鉄道ジャーナル社）各年度号、貴志川線の未来をつくる会ホームページをもとに作成

表1-2 第二次廃止対象路線のその後。

路線番号	路線名	所属	区間	距離	乗客数	廃止日	転換先	
①	相生線	福岡県	国鉄	下鴨生～下山田	7.9km	492人/日	1986年3月31日	西鉄バス。
②	伊達紋別線	北海道	国鉄	伊達紋別～倶知安	83.0km	508人/日	1986年10月31日	道南バス。
③	富内線	北海道	国鉄	釧路～日高町	83.0km	378人/日	1986年10月31日	道南バス。
④	阿仁合線	秋田県	国鉄	鷹ノ巣～比立内	46.1km	1,524人/日	1986年10月31日	秋田内陸縦貫鉄道。
⑤	越美南線	岐阜県	国鉄	美濃太田～北濃	72.2km	1,392人/日	1986年12月10日	長良川鉄道。
⑥	宮之城線	鹿児島県	国鉄	川内～薩摩大口	66.1km	843人/日	1987年1月9日	林田産業交通（現：いわさきバスネットワーク）、南国交通バスに転換。
⑦	広尾線	北海道	国鉄	帯広～広尾	84.0km	1,098人/日	1987年2月1日	十勝バス。
⑧	大隅線	鹿児島県	国鉄	志布志～国分	98.3km	1,616人/日	1987年3月13日	鹿児島県交通バス、JR九州バスに転換。JR九州バスは、後に撤退。現在は、大隅交通ネットワーク。
⑨	二俣線	静岡県	国鉄	掛川～新所原	67.9km	1,518人/日	1987年3月14日	天竜浜名湖鉄道。
⑩	瀬根線	北海道	国鉄	国領～瀬根	48.4km	813人/日	1987年3月15日	函館バス。
⑪	湧別線	北海道	国鉄	中湧別～網走	89.8km	267人/日	1987年3月19日	網走バス。
⑫	十勝線	北海道	国鉄	帯広～十勝三股	78.3km	493人/日	1987年3月22日	北海道拓殖バス・十勝バス・上士幌タクシーに転換。上士幌タクシーは、後に撤退。
⑬	伊勢線	三重県	国鉄	河原田～津	22.3km	1,508人/日	1987年3月26日	伊勢鉄道。
⑭	佐賀線	佐賀県・福岡県	国鉄	佐賀～瀬高	24.1km	1,796人/日	1987年3月27日	佐賀市営バス・西鉄バスに転換。佐賀市営バスは、後に撤退。
⑮	志布志線	宮崎県・鹿児島県	国鉄	西都城～志布志	38.6km	1,616人/日	1987年3月27日	鹿児島県交通バスに転換されたが、現在は、大隅交通ネットワーク・三州自動車。
⑯	留賀線	北海道	国鉄	留賀～横延	141.1km	789人/日	1987年3月29日	沿岸バス。
⑰	機内線	北海道	JR北海道	岩見沢～機内	18.1km	1,090人/日	1987年7月12日	北海道中央バス。
⑱	三笠線	北海道	JR北海道	三笠～機内（貨物支線）	2.7km			
⑲	会津線	福島県	JR東日本	西若松～会津高野	57.4km	1,333人/日	1987年7月15日	会津鉄道。
⑳	岩日線	山口県	JR西日本	川西～錦町	32.7km	1,420人/日	1987年7月24日	錦川鉄道。
㉑	山形線	熊本県・鹿児島県	JR九州	水俣～栗野	55.7km	994人/日	1988年1月31日	南国交通に転換されたが、現在は、水俣駅前～大口バスセンター～鹿児島空港を結ぶ南国交通運行の特急バスに転換。
㉒	松前線	北海道	JR北海道	木古内～松前	50.8km	1,398人/日	1988年2月19日	函館バス。
㉓	松浦線	佐賀県・長崎県	JR九州	有田～佐世保	93.9km	1,741人/日	1988年3月31日	松浦鉄道。
㉔	真岡線	茨城県・栃木県	JR東日本	下館～茂木	42.0km	1,620人/日	1988年4月10日	真岡鉄道。
㉕	歌志内線	北海道	JR北海道	砂川～歌志内	14.5km	1,002人/日	1988年4月24日	北海道中央バス。
㉖	上山田線	福岡県	JR九州	飯塚～豊前川崎	25.9km	1,056人/日	1988年8月31日	西鉄バス。
㉗	足尾線	群馬県・栃木県	JR東日本	桐生～間藤	44.1km	1,315人/日	1989年3月28日	わたらせ渓谷鉄道。
㉘	高千穂線	宮崎県	JR九州	延岡～高千穂	50.1km	1,350人/日	1989年4月27日	高千穂鉄道に転換されたが、2005年9月6日災害により全線休止。2007年9月6日延岡～横峰間を廃止。2008年12月2日横峰～高千穂間の廃止により、全線が廃止。
㉙	横津線	北海道	JR北海道	標茶～根室横津	69.4km	590人/日	1989年4月29日	阿寒バス。
㉚	天北線	北海道	JR北海道	中標津～厚床	47.5km			根室交通。
㉛	名寄線	北海道	JR北海道	音威子府～南稚内	148.9km	600人/日	1989年4月30日	宗谷バス。
㉜	名寄線	北海道	JR北海道	名寄～遠軽	138.1km	894人/日	1989年4月30日	北見バス（後に北海道北見バス）・北紋バス・名士バスに転換。
㉝	名寄線	北海道	JR北海道	中湧別～湧別	4.9km			
㉞	池田線	北海道	JR北海道	池田～北見	140.0km	943人/日	1989年6月3日	北海道ちほく高原鉄道に転換されたが、2006年4月21日に廃止。十勝バス・北海道北見バスに転換。

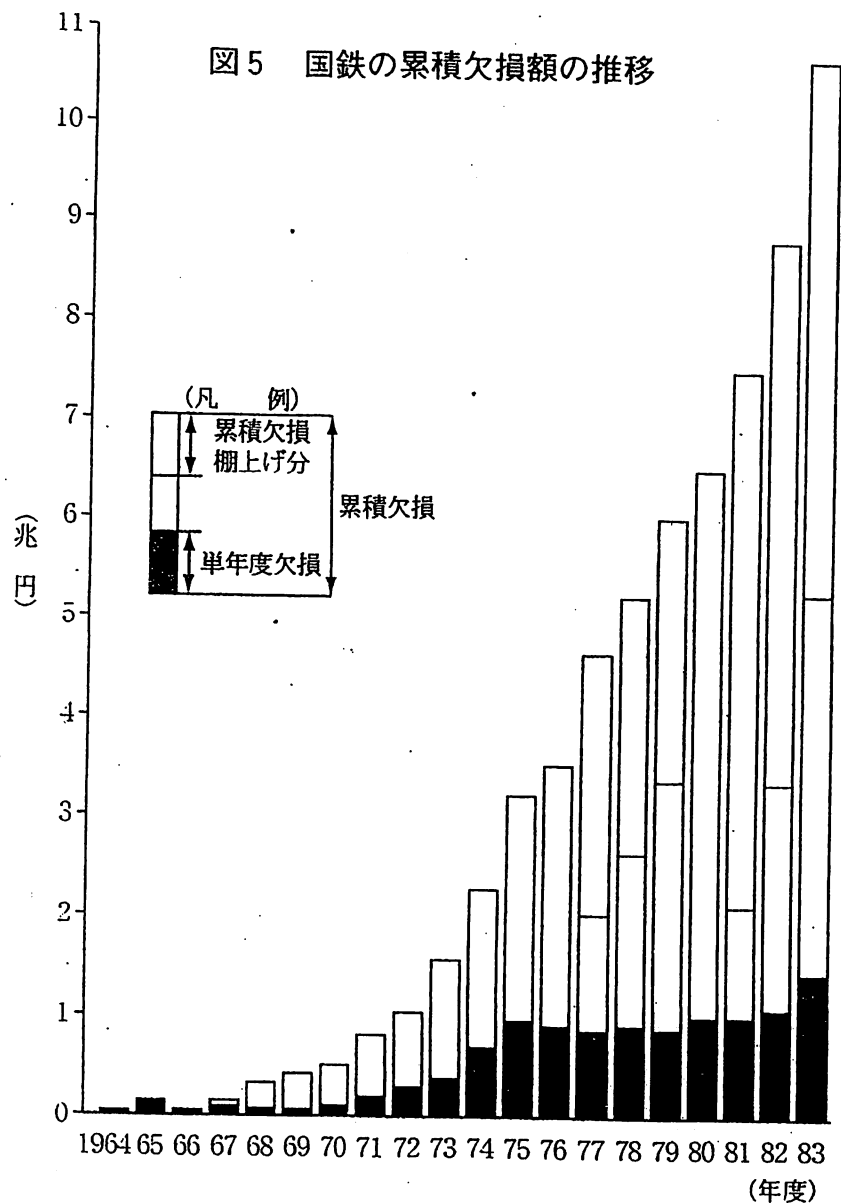
年鑑「日本の鉄道」（鉄道ジャーナル社）各年度号、貴志川線の未来をつくる会ホームページをもとに作成

表1-3 第三次廃止対象路線のその後。

路線番号	路線名	所在地	路線	区間	距離	乗客数	廃止日	転換先
⑫	岡多線	愛知県	JR東海	岡崎～新豊田	19.5km	2,757人/日	1988年1月30日	愛知環状鉄道
⑬	能登線	石川県	JR西日本	穴水～新島	61.1km	2,045人/日	1988年3月24日	のと鉄道能登線に転換されたが、2005年3月31日に廃止。能登中央バス・能登観光開発に転換されるが、現在は、北鉄奥能登バス。
⑭	中村線	高知県	JR四国	窪川～中村	43.4km	2,289人/日	1988年3月31日	土佐くろしお鉄道中村線。
⑮	長井線	山形県	JR東日本	赤湯～荒砥	30.6km	2,151人/日	1988年10月24日	山形鉄道。
⑯	伊田線	福岡県	JR九州	直方～田川伊田	16.2km	2,871人/日	1989年9月30日	平成筑豊鉄道伊田線。
⑰	糸田線	福岡県	JR九州	金田～田川後藤寺	6.9km	1,488人/日	1989年9月30日	平成筑豊鉄道糸田線。
⑱	田川線	福岡県	JR九州	行橋～田川伊田	26.3km	2,132人/日	1989年9月30日	平成筑豊鉄道田川線。
⑲	湯前線	熊本県	JR九州	人吉～湯前	24.9km	3,292人/日	1989年9月30日	くま川鉄道。
⑳	宮田線	福岡県	JR九州	勝野～筑前宮田	5.3km	1,559人/日	1989年12月22日	JR九州バス（既存路線による運行）に転換されたが、後に廃止。
㉑	宮津線	京都府・兵庫県	JR西日本	西舞鶴～豊岡	83.6km	3,120人/日	1990年3月31日	北近畿タンゴ鉄道宮津線。
㉒	船泊屋線	兵庫県	JR西日本	野村～船泊屋	13.2km	1,961人/日	1990年3月31日	神姫バス。
㉓	大社線	鳥取県	JR西日本	出雲市～大社	7.5km	2,661人/日	1990年3月31日	一畑電気鉄道バスに転換されたが、現在は、一畑バス。

年鑑「日本の鉄道」（鉄道ジャーナル社）各年度号、貴志川線の未来をつくる会ホームページをもとに作成

資料④



出典：野田正穂・原田勝正・青木栄一編『日本の鉄道』日本経済評論社、1986年。

注：原資料は『国鉄監査報告書』（各年度）。

資料⑤

表20 国内輸送機関別貨物輸送量および輸送分担率

1. 輸送トン数

(単位:100万トン・%)

年度	総輸送量	国 鉄	私 鉄	自動車	内航海運	航 空
1955	832(100.0)	160(19.2)	33(4.0)	569(68.4)	69(8.3)	—
60	1,533(100.0)	195(12.7)	43(2.8)	1,156(75.4)	139(9.1)	—
65	2,625(100.0)	200(7.6)	52(2.0)	2,193(83.5)	180(6.9)	—
70	5,259(100.0)	199(3.8)	57(1.1)	4,626(88.0)	377(7.2)	0.1(0.0)
75	5,030(100.0)	142(2.8)	43(0.9)	4,393(87.3)	452(9.0)	0.2(0.0)
80	5,985(100.0)	122(2.0)	45(0.8)	5,318(88.9)	500(8.4)	0.3(0.0)
85	5,600(100.0)	69(1.2)	31(0.6)	5,048(90.1)	452(8.1)	0.5(0.0)
90	6,776(100.0)	58(0.9)	28(0.4)	6,114(90.2)	575(8.5)	0.9(0.0)

資料⑥

国鉄再建法により廃止になった北海道と九州の路線図

